

[野菜部門 平成 30 年度 指導参考資料]

事 項 名	肥効調節型肥料の全量基肥施用によるいちご「すずあかね」高設栽培の収量性		
ね ら い	いちご「すずあかね」の夏秋どり作型で、肥効調節型肥料を基肥として全量を培地に混合する高設栽培について、収量性を明らかにしたので参考に供する。		
指 導 参 考 内 容	<p>1 肥効調節型肥料の全量基肥施用の方法          肥効調節型肥料（エコロングトータル 391 (N13% : P9% : K11%) またはハイコントロール 085 (N10% : P18% : K15%) の溶出期間 180 日タイプを窒素成分量で 2.5 g/株（エコロングトータル 391 の場合は 19 g/株、ハイコントロール 085 の場合は 25 g/株）とし、定植時に基肥として全量を培地に混合する。</p> <p>2 高設栽培の方法          (1)栽培槽          内寸の長さ 85cm、幅 25cm、深さが 10cm 以上の発泡スチロール箱を用い、底面に排水用の穴を複数開け、内部底面に透水性の良い不織布（ラブシート等）を敷く。          (2)培地          杉パーク主体の培地（チャコールモス S 等）を使用し、5.3l/株程度とする。          (3)栽植密度          6,666 株/10 a（株間 25cm、2 条千鳥植え、列間 120cm）とする。          (4)定植方法          2 月中旬に「すずあかね」冷蔵裸苗を直接定植、または、2 月中旬に鉢上げ育苗して 5 月上旬に定植する。          (5)灌水方法          定植から活着まで : 頭上から手灌水を行う。          生育初期の低温期 : 活着後、点滴チューブ（ドリッパー間隔 10cm）を設置          灌水量 200ml/株/日程度          春期（4 月頃～） : 灌水量 500ml/株/日程度          盛夏期（7 月頃～） : 灌水量 800ml/株/日程度          秋期（10 月頃～） : 灌水量 500ml/株/日程度</p> <p>3 収量性          肥効調節型肥料の全量基肥施用により収穫期後半まで安定して収穫が可能で、可販果収量は 550～650 g/株程度、3.5～4.3 t/10 a 程度となる。          なお、2 か年の試験では、白ろう果は発生していない。</p>		
期待される 効 果	夏秋いちご高設栽培の安定多収生産が期待できる。		
利 用 上 の 注 意 事 項	<p>1 株の管理方法やその他の栽培管理は、品種育成元の栽培技術マニュアル及び青森県夏秋いちご栽培マニュアル等を参考にする。</p> <p>2 灌水量が不足し培地表面が乾燥するような条件では、培地に撥水性が現れたり培地内の EC が上昇したりするため、常時適湿を保つ。</p>		
問 い 合 わ せ 先 (電話番号)	農林総合研究所 施設園芸部 (0172-52-2510)	対 象 地 域 及 び 経 営 体	県下全域の夏秋いちご作付経営体
発 表 文 献 等	平成 28～29 年度 試験成績概要集（農林総合研究所）		

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 肥効調節型肥料の全量基肥施用による収量性

(平成 28 年 青森農林総研)

施肥方法		可販果収量 (g/株)						10a換算 (t)
		6月	7月	8月	9月	10月	計	
肥効調節型肥料	エコロングトータル391-180日	38.9	194.4	223.8	59.4	130.6	647.1	4.31
	ハイコントロール085-180日	18.8	295.9	158.7	87.3	90.9	651.6	4.34
(対照)灌水同時施肥 (タンクミックスF&B)		3.9	116.8	97.6	43.1	77.2	338.5	2.26

(注) 培地量は 5.30/株。

表 2 肥効調節型肥料の全量基肥施用による収量性

(平成 29 年 青森農林総研)

施肥方法		可販果収量 (g/株)						10a換算 (t)	
		6月	7月	8月	9月	10月	11月		計
肥効調節型肥料(エコロングトータル391-180日)		11.3	210.8	105.9	93.1	57.8	6.3	485.2	3.23
(対照)灌水同時施肥(タンクミックスF&B)		93.2	105.3	82.8	57.6	23.0	6.8	368.5	2.46

(注) 培地量は 3.30/株。

表 3 全量基肥施用での培地量及び定植方法が収量に及ぼす影響

(平成 29 年 青森農林総研)

培地量 (0/株)	定植方法	可販果収量 (g/株)							10a換算 (t)
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	
3.3	直接植えつけ2月定植	11.3	210.8	105.9	93.1	57.8	6.3	485.2	3.23
	2月鉢上げ5月定植	50.8	199.1	124.9	102.9	32.2	4.7	514.7	3.43
5.3	直接植えつけ2月定植	37.9	251.1	109.4	105.2	38.4	9.3	551.4	3.68
	2月鉢上げ5月定植	82.8	134.0	138.9	121.4	43.7	7.1	527.9	3.52

表 4 耕種概要

1 供試品種	すずあかね (ホクサン株式会社 冷蔵裸苗)
2 定植月日	平成 28 年：平成 28 年 2 月 19 日、平成 29 年：平成 29 年 2 月 15 日及び 5 月 1 日
3 定植方法	平成 28 年：栽培槽へ冷蔵裸苗を直接植えつけ、平成 29 年：2 月定植は栽培槽へ冷蔵裸苗を直接植えつけ、5 月定植は 2 月定植と同様の苗を 2/15 に 12cm 黒ポリポットに鉢上げし定植まで液肥 (タンクミックス F&B、EC0.3mS/cm 程度、原水の EC 除く) で追肥
4 栽培様式	株間 25cm、2 条千鳥植え、列間 120cm、8 株/m、6,666 株/10 a
5 培地	チャコールモス S
6 施肥	平成 28 年：「灌水同時施肥」以外はエコロングトータル 391-180 日を基肥として全量を定植時に培地へ窒素成分量 2.5 g/株混合。「灌水同時施肥」は液肥 (タンクミックス F&B) を用いて、灌水時に日施用量 (窒素成分量 12mg/株/日、栽培全期間 3.2 g/株) を等分して施肥。平成 29 年：「肥効調節型肥料」はエコロングトータル 391-180 日を基肥として全量を定植時に培地へ窒素成分量 2.5 g/株混合。「灌水同時施肥」は液肥 (タンクミックス F&B) を用いて、灌水時に日施用量 (窒素成分量 20mg/株/日、栽培全期間 5.8 g/株) を等分して施肥
7 灌水	1 回に 50~100ml/株程度を 200~800ml/株/日
8 収量調査	全農あおもり出荷基準を参考に 6 g 以上の秀品及び AB 品を可販果として集計

(参考価格)

- 1 エコロングトータル 391-180 日タイプ 10kg 2,752 円 (税抜)
- 2 ハイコントロール 085-180 日タイプ 10kg 3,620 円 (税抜)
- 3 チャコールモス S 600 1,600 円 (税抜送料別途)